

日切不動尊大祭

4月1日(金)

日切不動尊の年に一度の大祭です。近隣のご住職が参集され、願い事を書いた護摩木を柴灯護摩によって祈願致します。

十一時四十五分〜法話 30分 自由に参加
 十二時二十分〜もちくばり ください

※昨年に引き続き「もちまき」に代え、「もちくばり」を行います。

一件 千円

十時半〜柴灯大護摩供

十一時三十分

九時〜護摩受付開始
 (先着七〇名様におみやげ付)



関西花の寺二十五カ所霊場

第23回 花法要 4月10日(日)

花法要は年一回各寺持ち回りで、自然に感謝し平和を祈る法要です。一昨年よりコロナ禍によって延期されていましませんが、今年、如意寺にてようやく開催の運びとなりました。お花見も例年最盛期です。またとない機会に是非お参りください。



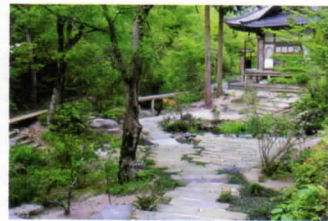
〜花法要〈次第〉〜

- 10:40〜 道中散華
- 10:50〜 花法要
- 11:30〜 同 式典
- 12:00〜 花供養 津軽三味線演奏
- 12:25〜 珠山千年石の庭 開庭記念 (子供たちの花の苗植え)



式典では「珠山千年石の庭」作庭をご監修頂いた小川勝章氏にお話を頂きます。小川氏は京都市の御庭植治の次期十二代として、新たな作庭に加え、歴代の手掛けた庭園においても、作庭・修景・維持を続けられ、次代へと繋がる取り組みを重ねておられます。

また、豊岡市在住の藤垣義則氏、他4名様に、花法要バージョンとして津軽三味線を演奏して頂きます。



毘沙門天像修復について

昨年秋からの勧募開始より、正月以降も多くの方に御寄進頂きました。皆様のご厚意に心より御礼申し上げます。

今回の事業をネットで知り、ご遠方からお越し頂いた方もおられ、新たなご縁にも嬉しく思っております。

お像は毘沙門天・吉祥天・善膩師童子の三体あることから、当初の計画より延長し三年で(5月半ばに搬出予定)修復することとなりました。それに合わせ御寄進の勧募もこの三年間に渡って行います。ご理解ご支援を心よりお願い申し上げます。

※御寄進(壹千円以上)頂きました方には、金箔押しの毘沙門天特別朱印を返礼とさせていただきます。



写経・写仏のご案内

5、7、9、11月の一

ついたち

午前10時より 参加費 千円

用紙、筆ペンは用意しています。

久美浜湾を望む和室で、イスで行います。

日常を離れた静かな時間をお過ごしください。



6月

5月

4月



アジサイ



サンショウバラ



ヤマボウシ



ホウチャクソウ



しやくなげ



桜



シヤラ



笹百合



ハマナス



ハナイカダ



みつばつつじ



二輪草



イワタバコ



山つつじ



山シヤクヤク



エビネ



ひとりしずか 人静



イカリ草

春〜初夏の花暦

花情報はInstagram、Facebookでもご覧頂けます。



人生は無目的！

人生に目的はありません。悪いことでなければ、何をしてもよいのです。「自分に由る」のです。日々エネルギーを蓄えて子の体を養い、元気に生き抜くことこそが最重要です。そのプロセスの中で問題も解決していきます。生きていてこそ、です。元気なら自分も楽しいし周りも幸せになる。年収も上がります(笑)。畢竟、人生の目的は「美しく清らかに生きたい」という願いに尽きるのではないのでしょうか。それが「やすらぎ」の生き方となります。そのためにこそ、人は悩み、努力しているのだとおもいます。

なぜ清らかな行為が必要かということですが、汚れた心は乱れる一方だからです。少くくはというものは危険で、汚れた一滴の水も、いつかは器を満たして溢れ出します。「正しい」は、時によって基準が変わります。私とて自信がありません。「清らか」はもっと普遍的な価値観であり、賞味期限はずっと長いのです。誠実である、恵まれない人に喜捨をする、いばらない……。清らかは、すてきです。

住職著書『苦を樂に生きる』
＜佼成出版社・東京＞

門前の護岸工事ついに終了！

如意寺から久美浜小学校の間で行われていた護岸工事が完了しました。

2015年に着工して以来、予算の都合で遅々として進みませんでした。従来の護岸道と新護岸道が如意寺海側駐車場前で繋がり、これによって車を気にせず湾沿いを歩き、如意寺へも至る道ができました。



久美浜湾とかぶと山や観音山(旧如意寺境内跡)を臨む景観最高の歩道です。

如意寺の歴史②④ (平成) 《その2》

改修と修理

平成には境内や庭といった自然景観の整備と並行して、堂塔や文化財の修理改修も多く進めてきました。

平成8年には両界曼荼羅の修復。平成13年より2年間かけて京都の美術院において山門の金剛力士像2体の解体大修理を行いました。

平成15年には鐘楼とそこへ至る参道の新改築、また屋根瓦の葺き替えは休憩所、本堂、山門と順次行い、山門の葺き替えの際には多くの方に御寄進を頂き、屋根瓦の裏



新改築された「鐘楼」

に御芳名を記させて頂きました。また石畳の整備やお手洗いの新設、改修なども随時行うなど、修理を続けながら境内維持を続けてきました。時代は令和へと移りましたが、皆様に気持ちよくご参拝頂けるよう、また仏教護持の道場として整備に努めてまいります。

以上、如意寺やそれに関わる歴史について二十数回にわたって書かせて頂きました。お付き合いいただきありがとうございました。



葺き替えた山門、庫裡等の瓦屋根



解体大修理を行なった金剛力士像

永代供養について

- 当寺では、永代供養を行っています。宗旨、宗派は問いません。
- 永代供養は、お仏壇やお墓の世話や、お墓を造る予定のない方のためのものです。
- 生前予約もしていただけます。
- 永代供養の方法

- ・ 当寺持仏堂の納骨壇に個別に安置いたします。
- ・ 13年間安置し、その後は境内地内の永代供養墓に合祀します。
- ・ 永代供養料： 一霊 20万円。(お位牌作成の場合は実費と供養料2万円。すでにお位牌がある場合は供養料は不要です。)
- ・ 供養のあり方：△ いずれの場合も、「永代過去帳」に戒名を記入します。
△ 盆・春秋のお彼岸と年忌法要(一周忌、三回忌など)を行います。
- ご質問は、電話、メール等でお問い合わせください。

一水子供養について

- 略式水子供養 千円 (予約不要)
- 特別水子供養 一万円 (要 予約)

水子納骨を希望される場合はご相談ください。(火葬証明書が必要)